

中津商業高校 国際化推進事業について

8月16日（金）～25日（日）まで、3年生の生徒2名と2年生の生徒8名がタイ・バンコクとブリラム県に海外研修に出かけました。

8月17日（土）は現地の日本語学校の学生たちとの交流会で、自己紹介から始まり、日常生活の会話、お互いの国のゲームをして親交を深めました。



8月18日（日）は映画「戦場にかける橋」の舞台となったクワイ川鉄橋を、日本語学校の学生たちと訪問しました。その後、国立自然公園内にある大きな滝を見学し、涼を楽しみました。



8月19日（月）はワゴン車でブリラム県まで移動しました。500kmくらい移動し、途中でタイ最古の遺跡パノムルン遺跡を見学しました。



8月20日(火)はプラコンチャイピッターコム高校を訪問しました。朝礼が始まるブラスバンドの演奏が鳴った後、屋内の講堂に移動しましたが、約3,000人の生徒たちの前での自己紹介は圧巻でした。日本人が高校を訪問するのは10年振りくらいで、しかも10名の大人数でしたので、生徒たちからの歓迎の歓声はまるで芸能人を迎えるかのような様子でした。朝礼後は3年生の皆さんとお互いの文化について交流をし、その後2年生の皆さんとタイ料理と日本料理のお互いの料理を作る交流を行い、昼食後民族衣装に着替えて校内各所で記念撮影を行いました。最後の交流はバスケットボールの交流で、男女2チームで対戦をしました。試合は周りからの歓声で大いに盛り上がり、結果は男子が惜敗、女子は大勝でした。コート周りにはギャラリーがたくさん集まり、試合後は本校生徒との記念撮影で大変盛り上がりました。



8月21日(水)は日本語学校を訪問し、ここでもタイ料理を本校生徒が作り、たこ焼きをタイの学生が作る料理交流を行いました。お互い見本を見せてから、作り方を教えあう姿にはほほえましさを感じました。午後は日本語学校の学生たちと一緒にバンコクで一番のインスタスポット、ワットパクナム寺院に行きました。エメラルド色に輝く巨大な仏塔を前に、生徒たちは思い思いの自撮りを夢中で行っていました。



8月22日(木)は午前中に水上マーケットを見学し、午後は中津川市にある美濃工業の現地法人「美濃タイランド」を訪問しました。会社説明を受けたあとに工場見学を行い、その後質疑応答になりましたが、本校生徒は積極的に質問を行い、またタイの学生たちもあと数カ月すると日本の美濃工業で働くということで、日本の生活で不安な点等を質問しました。工場長様はその姿勢にとても感心され、お褒めの言葉をいただきました。



8月23日(金)は王宮を訪問しました。とても広い王宮で、建築物も立派ですが王宮であると生徒たちも感心していました。その後デパートへ行き、マーケティングリサーチを行いました。日本に比べて安いもの、そんなに変わらないものといろいろな商品を見ながらお互いに意見交換をしていました。



8月24日(土)はバンコクプラネタリウムに行きました。タイ語のみの説明でしたが、生徒たちは童心に帰って楽しんでいました。午後からは予定が入っていましたが、生徒の一人が体調を崩したため、すぐに現地の病院に連れて行ったところ、日本語の堪能なスタッフの方が見えて、ドクターに的確に病状などを話され、処置についても私たちに的確に話していただけました。不安な海外で日本語のわかる病院があるというのは、とてもありがたいことですし、タイに進出している企業で働く日本人がたくさん住んでいる地区だからこそそのありがたみがわかりました。病院で休んでいた生徒も回復したため、全員がそろって空港に移動し、日本語学校の学生やスタッフの方々とお別れしました。お互い最後まで名残惜しそうにみんなで手を振って別れました。

この研修が初めての海外という生徒がほとんどで、企業訪問では積極的に質問を行い、現地法人の方からもとても良い評価を受けました。今回は10日間という長期間であったので、食事が口に合わなかったり、訪問をさせたいところが多くハードな日程であったりしたので、今後は改善をしながらこの事業を継続できたらと考えています。生徒たちについては、今回学んだことを活かして今後は海外に目を向けられるような充実した生活を送ってくれたらと願っています。